

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」に係る実績（矢祭町）

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	町内の小学校が統合により1校のみとなって以降、各学校を拠点とした地域性の希薄化がみられる。バス通学などの影響もあり、日常的に地域住民と子ども達が関わりあう機会が少ない。 また、学校側の活動に必要な外部講師の選定についても、教員の業務負担となっている。	コーディネーターを通し、学校の活動講座などに要する講師や支援者について、ボランティアバンクから適正な人材を派遣、または募集する。	ボランティアバンクの登録者は、学校側からの要請がない限り活躍の場がなかったことから、年度内に1、2回、登録者全員で取り組める清掃活動等の全体事業を実施する予定である。	教員の活動準備の負担が軽減され、また多様な活動の選択に繋げる。 ボランティア登録により、地域の様々な人材の確保、講師となりえる地域住民のいきがいづくりに繋げる。	定期的に学校で開催する郷土学習の実施数とボランティアの派遣回数。	23	件	25	25	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 年度を通して目標件数以上の講師派遣を行うことができた。 昨年度より事業に対する周知が行われ、学校機関での活用が行われている。
③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	学校の授業で行う郷土学習については、時間の制限等があり、町を知る学習活動が不足していることが課題。	郷土学習を中心とした野外活動を、月1回程度のペースで実施する。	郷土を学ぶ機会という事を意識した、講座内容を企画、展開する。また町民との交流も意識し、ボランティア登録者を講師として迎え実施する。	学校の郷土学習の範囲で開催が困難な学習内容について、探検隊事業により企画し、郷土学習の充実を図る。	5月～1月の期間中、全7回(1回につき3時間程度))講座を開催。	24	時間	24	21	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 目標値より実績値が下回っているが、活動回数自体は予定通りの回数を実施できている。町民との交流講座を計画的に実施する事ができた。